

La Informilo de Nagoja Esperanto-Centro

センター通信 第311号 2024年1月18日発行

発行：名古屋エスペラントセンター Nagoja Esperanto-Centro

461-0004 名古屋市東区葵一丁目26-10ユニブル新栄301号

公式サイト <http://nagoja-esperanto.a.la9.jp/>

Facebookページ <https://www.facebook.com/nagoja.esperanto>

郵便振替口座 00840-8-40765 「名古屋エスペラントセンター」



◀◀ 目次 ▶▶

ザメンホフ祭2023の報告（山口眞一）	2
日本エスペラント大会に参加して（中川裕貴）	3
日本エスペラント大会に参加して（相原輝）	10
センターの財政状況についてのご報告とお願い（小川博仁）	11
Vidindaj Lokoĵ en kaj ĉirkaŭ Nagojo (16) (IMAJDA Kenĝi)	12
Razenとの再会（山口眞一）	15
今後の活動	15
活動日誌	16
編集後記	16

ザメンホフ祭2023の報告

山口 眞一

それまでの暖冬がうそのように急激な寒さに見舞われた12月17日（日）、ザメンホフ祭が名古屋エスペラントセンター事務所で開催された。昨年の参加者が12人で、これはコロナの影響が大きかったと思われるが、今回は19人。ほぼ例年通りの人数を回復した。なおかつ、はじめての参加者が3人あったことは、常連参加者にとつての刺激になった。

はじめに全参加者が自己紹介をかねて、今年一年のできごとなどをかたんに語った。エスペラントで流暢に話すベテランも、エスペラントを実際に学んだことがない大学の先生も、eterna komencanto（永遠の初心者）も、多彩な顔ぶれだった。

メインの講演は、ジョセフ・エサティエさん。名古屋工業大学の准教授で、演題は「齋藤秀一、ローマ字運動、エスペラント」。同じ趣旨の講演を、トリノにおける世界エスペラント大会で行なっている。エスペラントはまだ学び始めたばかりで日本語の方が話しやすい、とのことで、スライド付きで日本語での講演だった。エサティエさんは一貫して言語の民主化運動について研究し発信されている方。すなわち、読み書きをエリートだけでなくすべての人ができなくてはならない、

そのためのローマ字運動があり、齋藤秀一は日本におけるその先駆者だったこと、中国でも同様の運動があったこと、エスペラント運動もローマ字運動と同様、その容易さによってコミュニケーションの障害を取り除こうとしたがために権力側から



弾圧されたこと、などを語っていただいた。この点で、エスペラント運動には政治的な背景があることが示唆された。

続いて、やはりエスペラントはまだ学び始めたばかり、という中川裕貴さんは、なぜ自分がエスペラントに興味をもったか、どのように実際に学んでいるのか、初参加となって日本エスペラント大会にどのようにすごしたか、について、スマホのメモを見ながらよどみなく語った（このメモは本号4頁に掲載）。アドベンチャーゲーム「ことのはアムリラート」でエスペラントがパラレルワールドの言語として使われていることは有名になったが、「メタバース」と言われて首をかしげる参加者も。

最後は、名古屋エスペラントセンターのベテラン、伊藤俊彦さん。八ヶ岳エスペラント館の運営委員をされているため、写真を投影しながら同館の紹介、および周辺案内をしていただいた。別荘地として人気のある八ヶ岳南山麓に同館はあり、エスペラント関係のイベントや宿泊に使われている。建築家の故・森田茂介氏によって建てられ、その夫人から日本エスペラント協会に寄贈されたものである。ぜひ多くの人によって活用していただきたい、と。名古屋エスペラントセンターとして、以前に数回利用したことはあるものの、最近はその機会がなくなって久しいので、検討すべき課題である。

事務所では、販売図書を多く抱えているものの、残念ながらその多くが売れ残りデッドストックになっているため、これを機会として、言い値販売を始めた。これは「気に入った本をいくらでもいいので売ります」というもの（一部の辞書類を除く）。終了後、数人が奥の販売スペースに入り、売り上げは6100円となった。1冊100円で買っていく人が多かったようだ。

この後、場所を栄のお店（肉バルミート吉田）に移し、9人が懇談を続けた。

第111回日本エスペラント大会 (第3回日韓共催エスペラント大会)

- 日時：2024年10月4日（金）、5日（土）、6日（日）
- 会場：大韓民国・全州教育大学校（全羅北道全州市）

第1回共催大会は2011年10月に韓国京畿道城南市で、第2回は2018年10月に奈良市で開催されました。

日本エスペラント大会に参加して

中川 裕貴

(編者注) 本稿は、ザメンホフ祭2023に参加された中川さんの発表内容です。予め作っていたメモを送っていただきました。メモなので、文体が不整合だったり、文になっていない箇所もありますので、ご承知おきください。ただし編者の側で、読みやすくするために部分的に手を加えています。

こんにちは、中川と申します。

それでは「エスペラント大会に参加して」ということで、自分がエスペラントを始めたきっかけから大会に参加したことまでを話させていただこうと思います。

「エスペラント大会に参加して」というタイトルなんですが、どちらかと言うとこれまでの経歴を話す方が長いと思いますがご容赦ください。

その前にそもそもエスペラントをはじめにどこで知ったか。

中学・高校の時くらい、英語の授業か何かでエスペラントの話が出てきた。

学校にあったパソコンでエスペラントについて調べた覚えがあります。

キャラクターを使った文法の解説サイトが出てきたので、こんなサイトあるんだな！とビックリした思い出があります。

その時はまだ「ふーん」と思う程度でした。

そこから時が流れて2020年くらい。

自分はARIAというアニメが好きだった。もう2020年時点では何度も見返しているほど好きな作品。

どういったアニメか。

火星が開拓されて水の星になった、そこにヴェネツィアを模した都市が作られる、そこにゴンドラの操舵手であるウンディーネを目指して女の子が地球からやってくる。

そこでの出会い、日常を描いた作品、音楽もとても素晴らしい。結構前から好きだったアニメ。

その挿入歌に「ルーミスエテルネ」。

感動的なシーンで流れる印象的な曲。

「すごく良い歌だけど何語なんだろう」

何語か調べてみたらエスペラントでへえ〜と思って。

これを知った時に思い出したのがことのはアムリラートというゲーム。

ことのはアムリラートというゲームは女の子が異世界へ飛ばされちゃって、言葉も分からない、そんな中少しだけ日本語のわかる女の子に出会って交流してゆくガールミーツガールのおはなし。

その異世界語のベースになっているのがエスペラント。
そもそも何故思い出せたか、知っていたか。
大学の友人が言語とかに興味がある方。
その友人にオススメされていた。
でもオススメされた当時はそこまで興味が湧かなくてやってなかった。
折角だしやってみようと思ってプレイした訳です。
ストーリーも好きだが、何より言語的な側面が面白かった。
ゲーム内でかなり本格的な文法の解説があったり相関詞や前置詞・副詞がガッツリ出てきたり。
そのゲームをやりながらエスペラントってすごい面白いなと思った。
ゲームをやりながらエスペラントの文法をインターネットで調べてみたりテキストを買ったり。
それが2020年くらい。
勉強が苦手、本を読むのも苦手。
趣味の目移りしやすい性格、飽きっぽい性格。
しかも放置したらテキストがぐちゃぐちゃになってしまった。
次第に興味は薄れて「多分もうやらないだろうな」。
ところが2023年3月くらいにふと突然思い出す。
Twitterか何かでエスペラントが使われた個人で出しているグッズか何かを見て思い出して。
「あれだけ熱中してたのに話したり書いたりできないのなんかすごい勿体ないな」
とりあえず再度ゲームをプレイ。
やっぱりエスペラント面白いなと再認識。
テキストを再度買い直して勉強開始。
ちょうどその頃ことのはアムリラートのクラウドファンディングが開始。
単語学習に特化したゲームソフトを作る。
「これは応援するしかない」
クラウドファンディングにお金を払った。
クラウドファンディングを応援すると専用の連絡グループに入れる。
グループに「八ヶ岳エスペラント集中学習」の告知。
はじめてのエスペラントの著者である沼津の藤巻先生が主催。
八ヶ岳のエスペラント館で2泊3日で各自勉強する会。
そのお知らせが舞い込んできた。
行こうかどうかすごく迷った挙句締切1日前に参加を決める。
ゴールデンウィークに八ヶ岳エスペラント館へ行った。
当時はエスペラントで本当に簡単な自己紹介すら出来なかった。

でもそこで初めて生のエスペラント会話に触れることになった。
全然分からなかったし今でも多分分かんないけどとても刺激的な体験でした。
そこから4級受験のための勉強を続ける。
過去問を解いたり単語を覚えたりテキストを復習したりしていたテキストについては、疑問詞・前置詞・副詞あたりを重点的に何度も復習した覚えがあります。
で、特に単語帳については何度も反復して覚えるようにしました。
自分はペラペラめくるタイプの単語帳を使いました。
どんな風に覚えていたかといいますと、まずはエス和を6-7割できるようにして、次にその逆の和エスを6-7割できるようにした。
それができるようになったら一度単語帳をシャッフルして和エス、エス和をやりました。
あと音楽を聴きながら単語帳をやるっていうこともやりました。
音楽、歌詞のある歌を聴くとどうしても思考がなんというか妨害されるので、そこで出てこなかったら覚えられていないのでそこでしっかり覚えるということです。
自信が出てきたら一度途中でテストして、できなかったものは出来なかった単語帳とできた単語帳にわけ、また続きを勉強していく。
そうしたら最初は64点くらいだったのが80-90点台取れるようになってきた。
また試験範囲が今と違うのでたまに合格点ギリギリを取ることもあったんですが、それも「試験範囲が違うから今回は仕方ないな」と割り切ることができました
筆記試験はある程度できるようになってきたので、会話練習をしてみたい。
グループが見つからない。どうしようか。
Twitterで3級受験記が載っている本(データ)の宣伝を見つけた。
何の本かな？
仮想現実・メタバース上で語学関係の活動をしているグループ。
メタバースとは「インターネット上に構築された三次元の仮想空間」のこと。
「そこでみんなで集まって語学やったら面白いかもね」という理念のもとに活動している。
面白そうだなと思ってそこに参加することにした。
どんなことをやっているか。
語学講座をメタバース上で自主的に行なっている。
トキポナ(エスペラントと同じように2000年代に作られた人工言語で単語が120くらいしかないという特徴的な言語)
ミャンマー文字
テルグ語(これは南インドのことば)
ギリシャ語(主には現代ギリシャ語だが、時々古代ギリシャ語の話が出ることも)
そういった言語の講座が夜な夜な開講されている。

語学講座といってもその言語についてとても詳しい人がやるというわけではない。その言語を学習中の人のある意味学習発表の場として機能しているような感じだ。

エスペラントの講座に関しては、会話練習会。

みんなで会話練習してみよう、エスペラントできない人は日本語で言ってもらって、みんなでなんていうか考えてみよう。

主催の人が物語をグーグル翻訳などを使って作ってきて、それをみんなで読みながらこっちの方がいいかなって添削したり、というようなことをやっている。

初心者にも優しいグループなので安心して参加することができました。

そこで実際にエスペラント会話の実践、読解力を培った。

そのまま勉強を続けて10月にエスペラント大会に参加。

試験を受けた。

試験は結構スラスラ解けたけれど、一問だけvendiloという単語がなんと訳せば良いか分からなくて、売ると道具で何だろうと思って試験後に友人に聞いたら「自動販売機とかの販売機」だった。

そこが分からなかったのが悔しかったです。

試験は合格しました。

筆記が94点で会話試験が100点を取ることができました。

それから午後は大会に参加。

大会では、まず開会式に参加した。

開会式で面白かった、印象に残ったのはラエスペーロの斉唱。

ラエスペーロはエスペラントでいう国歌的な歌で、こういう場で歌われるっていうのは知っていた。

自分も聞いてはいたけれども、それを生で体験できたのはすごく記憶に残っている。

それから次にことのはアムリラートのブースへ行ってプレゼントもらえるイベントに参加をした。

イベントの内容

まずはことのはアムリラートのキャラクターが描いてある大きなタスキをかける。

タスキをかけるだけではダメで、そして会場にいる人にエスペラントで実際に話しかけてくる、質問してくる。

ことのはアムリラートでも主人公が異世界で必死に異世界語でコミュニケーションを取っていた。

要はゲームの中の追体験。

それに挑戦することにした。

自分がした会話は「kiun landon vi volas viziti?」という簡単な会話。

会場にいる3人の人に話しかけた。

聴き取れないところもあったが少しは聴き取れるようになった気がした。

4級を受験したことで自分のレベルアップに繋がった気がする。

そこからは主に友達や会場の人と話をしていました。2時間くらい。

なので今回の大会の自分のメインは友人や会場にいる人達との会話となった。

メインはVR上の友達、八ヶ岳ので会った方、その2人。

そのほかその場に居合わせた人とも話した。

自分と年齢の近い人とたくさん話せた。

その後は初心者向けの会話講座に参加しました。

初心者向け講座という名前だったけれど、実際には参加者の皆さんかなりエスペラントができてかなりハイレベルな内容でちょっとビックリしました。

その後は割と年代の近い方々が多く出席されている食事会に参加しました。

皆さんすごいペラペラエスペラントを話されるので若干ですが人見知りが出てしまいました。

食べる専門の人になってしまいました。

それでもその食事会にいる何人かとは話せました。

中には中学生の方もいたりして刺激になりました。

もっと自分も勉強を頑張らないとなとも思いました。

感じたこと、年齢の近い人シンプルにエスペラントを楽しんでいる人が多いな。

エスペラントは世界共通語、だから世界平和っていう一面。

中には「世界平和のために」という理念を持った人。

「おほもと」からエスペラントを知ってやっている人、宗教的な一面もある。

そういった世界平和(政治)とか宗教って、何というか大事なこととわかっていながらちょっとこうとつき辛いところがある。

知り合いも言ってた、自分も多少はそう感じる。

でも今回のエスペラントの勉強をはじめて試験を受験・大会参加を振り返ると、ゲーム、アニメ、メタバースというサブカルチャーの面から非常に刺激を受けた。

そういうサブカルチャー的なエスペラントの面白さっていうのがあるなーと感じたし、今の若い人たちがエスペラントを始めるきっかけはこういう所にこそあるのではないかとも思った。

また、そういう所から政治的宗教的な理解もできてくるのではないか。

つい最近でも星屑テレパスというアニメが放送されている。

そこに「宇宙語」が出てくる。

そのベースになっているのもエスペラント。

それにも「spektro」という挿入歌があってもう配信されている。

宇宙語なのでエスペラントではない。

けれどもとても良い歌でしたので良ければ聴いてください。
これからの目標として、一つは単純なことではあるけれども学習を継続したいな。
やっぱり自分は飽き性なのでできる限り長くエスペラントの勉強をやりたいというのが今の気持ち。
大会の食事会でも「長く続けることによって分かってくる見えてくることがある」と言っていた。
長く続けた先の景色を観たいな。
一つはエスペラント検定3級を受けようと思います。
やはり今回4級を受けて自分の実力の向上を感じた。
着実にステップアップしていきたいと考えております。
あともう一つは自分の夢。
エスペラントの歌を作りたい。
自分は先程申しました通り音楽が好き。
作曲・作詞はできないけれども、作曲の会というものに所属している。
その中の活動でエスペラントの歌をいつか作ればなと思っている。
今は本当にまだ訳すらままならない感じですが、いつか実力がついた暁には挑戦したいなと思っております
これでスピーチを終わります。

(再び编者より) 上記にある ARIA の挿入歌 ルーミスエテルネ は YouTube で視聴できます。

<https://www.youtube.com/watch?v=OLfxdOGGsyU>



(歌詞) Source: <https://animesongz.com/lyric/197/733>

[このサイトでは字上符がぬけていますので、下記にそれを正しました。]

Vesperruĝo, fluas en ondetoj.	夕陽が沈み 流れるさざ波
Ĝi estas kiel la kanto, bela kanto de feliĉo.	それはまるで無垢な幸せの歌のよう
Ĉu vi rimarkis birdojn, portanta afablecon?	鳥たちは優しさを運ぶ遣い
Super la maro flugas, ili flugas kun amo.	海を越え飛ぶよ 愛を風に乗せ
Oranĝa ĉielo emocias mian spiriton.	心ふるえる黄昏の空に
Stelo de l'espero, stelo lumis eterne,	永遠 (とわ) に輝く希望の星よ
Lumis eterne.	ルーミス エテルネ

日本エスペラント大会に参加して

相原 輝

今回私が参加した川崎で開催されたエスペラント日本大会について、自分が参加したものを中心に時系列に沿ってにまとめていく。

初めに参加したのは、同じエスペランティストでありながら、全くの対極の立場にながら、友人同士の関係であった大杉栄と北一輝についてであった。ざっくり要約すれば、生まれも育ちも異なるが、中国との関わりを通して、お互いに考え方や関係を深めていったものである。

自分は大杉の考えに近く、北一輝の理念とは対立するが、その根底にある外部勢力からの自立や政治の腐敗に対する抵抗という点については、私も同情を寄せたい。

次に私が参加したのは、ウクライナの現状に関する講演であった。内容は追っていたものの、都合で途中参加になってしまい、質疑応答のところでも途中で力尽きてしまったが、非常に有意義な講演であった。ウクライナでの生活を通じロシアからの一方的な目線しか持っていなかったロシア人がその見方を変えていったこと、祖国の腐敗した政治を変えるためにウクライナと共に闘うロシア人の兵士の話、例え生活水準が例え下がろうとも自分たちで自分たちのことを決められるほうがよいと言ったウクライナ人の話、どれも私の心に深く突き刺さった。

翌日は、多文化共生に関する講演を聞いた。南チロル州とジュネーブを事例に、多言語社会、複言語社会の説明がであった。

個人的な印象として、多言語社会^{*1}は言語で社会が分断されており、教育期間が言語ごとに乱立していたり、実務に重点を置いて、社会が分断しているように見えた。

逆に、複数の言語を身につけて使い分ける複言語社会^{*2}では、いろいろな文化や価値観を身につけて、母語について客観的な見方ができたりと社会が統合されて豊かになっているように見える。

最後の講演は、個人的に親しい、黒薔薇さんによる性とジェンダーの問題についてのものである。自分は黒薔薇さんとは、無政府主義という共通の価値観に加えて、月刊誌アナキズムでも交流している。

個人的にはこういう話、特に活動家でもない一当事者としての視点を聞く機会は少なく非常に有意義なものであった。

黒薔薇さんの講演で刺さった箇所はたくさんあり、例を挙げるならば、「自分の性を隠すか打ち明けるかは個人の自由」、「興味本位の質問や理解アピールはしない」、「中立的な表現を心がける」、「他者を差別、抑圧しない人間はいない」で

あった。特に最後の言葉は印象に強く残っている。アナーキスト的な個人の自由や多様性を強調する斬新な視点であり、多様性と寛容を目指すエスペランティストとしても、目指すべき視点ではと感じた。

他に注目すべき点は、terf^{*3}とswerv^{*4}に関して触れていた点である。日本には自由や権利に対する意識が薄く、加えて西洋に対する反感^{*5}やタンキー^{*6}が多いということもあり、このような考えが社会に広まっており、個人的に疑問に思っていた。

*1 言語に別れて教育や行政のサービスが別れている。インドもこれに近い

*2 人や場面や目的に合わせて言語を切り替えること。必然的に多言語話者になる。

*3 反LGBTフェミニズム、「ハリー・ポッター」の作者などが有名。宗教右派や高齢の活動家に見られる。

*4 反セックスワーカーフェミニズム、主に後述の「タンキー」に多い。

*5 オクシデンタリズムのこと。近代化、科学技術、民主主義、人権に対する否定的感情が特徴

*6 ソ連や中国、北朝鮮のような自称「社会主義」国家やそのような思想を支持する人、主にアナーキストなどが使う。

センターの財政状況についてのご報告とお願い

委員長 小川 博仁

名古屋エスペラントセンター(=NEC)の維持員の皆さまへ

皆さまには日頃よりセンターの活動にご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。ありがとうございます。

センターの財政状況についてのご報告ならびに皆さまへのお願いを申し上げます。

NECの昨年9月末での残高が30万円を割り込みました(299,318円)。同じく11月末の残高は239,456円であり、20万円を下回るのも時間の問題といふ財政状態です。このような危機的な財政状況ですので、センターの活動を今後も維持するためにも、皆さまに於かれましては、維持員会費のランクアップならびにご寄付を、ぜひともご検討いただきたく存じます。

名古屋エスペラントセンター存続のため、なにとぞ財政面でNECを支へていただきますやう、委員長よりお願い申し上げます。

Vidindaj Lokoj en kaj ĉirkaŭ Nagojo (16)

Ghibli-Parko

ジブリパーク



[ĝenerala informo]

Ghibli-Parko estas tem-parko, kiu prezentas la mondon de animaciaj filmoj de Studio Ghibli. Ĝi estas konstruita sur kaj ene de la tereno de Aiĉi Memorparko por Expo 2005 (*Ai-Ĉikjŭhaku Kinen Kōen*) en la urbo Nagakute, la najbara de Nagojo. En la parko, malsame kiel aliaj amuzparkoj, ekzistas nek grandaj altiroj nek veturaj maŝinoj. Oficiala retejo diras, "Promenu, sentu la venton kaj malkovru la mirindaĵojn"; tie vi povas ĝui la atmosferon de la filmoj de Ghibli. Ekde la malfermo en la 22a de novembro 2022, krom japanoj multaj eksterlandanoj, precipe francoj kaj ĉinoj laŭ mia impresoj, vizitadas la parkon. Nun ĝi enhavas kvar areojn, nome Granda Stokejo de Ghibli, Monteto de Juneco, Dondoko-Arbaro kaj Mononoke-Vilaĝo. Aldone, baldaŭ malfermiĝos nova areo, Valo de Sorĉistinoj. Sube mi prezentu kelkajn videblaĵojn.

[Granda Stokejo de Ghibli] (*Ghibli no Dai-Soko*)

“Granda Stokejo de Ghibli” estas la ĉefa areo, kiu enhavas tri specialajn ekspoziciejojn kaj montras la mondon de la filmoj: <La vojaĝo de Ĉihiro> (*Sen to Ĉihiro no Kamikakuŝi*), <Prunteprenanto Arrietty>, (*Kari-guraŝi no Arietti*), kaj <Ĉiela kastelo Laputa> (*Tenkū no Ŝiro Rapjuta*). Krome estas malgranda kinejo, infanludejo kun “Kato-Buso”, memoraĵbutiko kaj restoracioj. Ankaŭ ekzistas stokejo, kiu ekspozicias artefaktojn kaj skulptaĵojn el pasintaj ekspoziciaĵoj. La plej vidinda estas probable “Famaj Scenoj” en la centra ekspoziciejo. Tie vi povas foti, kvazaŭ vi estus en la famaj scenojn el 13 filmoj. Ekzemple vi povas fariĝi Ĉihiro kaj sidi apud Kaonaŝi en mistera trajno sur la maro.



[Monteto de Juneco] (*Seiŝun no Oka*)

“Monteto de Juneco” esprimas la mondon de la filmoj: <Se vi streĉas la orelojn> (*Mimi o Sumaseba*) kaj <La Rekompenco de la Katoj> (*Neko no Ongaeŝi*). La elstara strukturo ĉi tie estas “Monda Emporio” (*Ĉikjū-ja*), la butiko de antikvaĵoj en la unua filmo. Vi povas viziti ankaŭ “Kato-Oficejo”-n (*Neko no Ĝimuŝo*) en la dua. En tiuj konstruaĵoj ĉiuj artefaktoj, de kraĵonoj ĝis violonoj, estas detale elaboritaj. Se vi amas la du filmojn, vi povas ĝui elkore tiun ĉi areon.



[Dondoko-Arbaro] (*Dondoko-Mori*)

En Dondoko-Arbaro vi sentas aeron de <Mia Najbaro Totoro> (*Tonari no Totoro*). “La Domo de Mei kaj Sacuki” estas konstruita tre detale kaj vi povas foti en ĝi. Sur la monteto malantaŭ la domo staras “Dondoko-Do”, granda ligna statuo de Totoro. Nur infanoj de 12 jaroj kaj malpli povas engrimpi en ĝin.



[Mononoke-Vilaĝo] (*Mononoke no Sato*)

Mononoke-Vilaĝo estas la nova sekcio, kiu ĵus malfermiĝis la 1an de novembro 2023. Tiu ĉi areo estas inspirita de la japan-stila montara vilaĝo, kiu aperas en <Princino Mononoke> (*Mononoke Hime*). Tie estas tobogano formita kiel Okkoto-Gami (dia aprego) kaj statuo de Tatarigami (diabla araneo).



[Valo de Sorĉistinoj] (*Maĝo no Tani*)

Valo de Sorĉistinoj malfermiĝos la 16an de marto 2024. Laŭ oficiala anonco tie ekzistos konstruaĵoj kiel "Domo de Okino" kaj "Gūcoki-Bakejo" en <Eksprespoŝto per Sorĉistino> (*Maĝo no Takkjūbin*), <Kastelo de Haŭl> kaj "Hatter-Ĉapelveŝto" en <La Movanta Kastelo de Haŭl> (*Hawl no Ugoku Ŝiro*), kaj "La Domo de la Sorĉistino" en <Āja kaj la Sorĉistino> (*Āja to Maĝo*).



[Utilaj Informoj]

Aliro: De la stacidomo de Nagojo, prenu la metrolinion Higaŝijama al la Fuĝigaoka. Tie transvagniĝu al "Linimo" (unusola magnete levitacia trajno en Japanio) por atingi la stacidomon Ai-Ĉikjūhaku Kinen Kōen. Eliru el la n-ro 2 elirejo kaj vi jam alvenas al la enirejo de la parko.

Bileto: Rezervo por la ekzakta vizit-tago estas bezonata kaj la sola maniero por aĉeti biletojn estas reta. Tarifo varias inter 1,000 kaj 3,000 enoj laŭ areoj kaj tagoj. Reguloj estas malfacilaj, do por detaloj bonvolu aliri al la oficiala retejo (<https://ghibli-park.jp/en/ticket/>).

IMAJDA Kenĝi

Razen との再会

山口 眞一

私は11月1日から11日にかけて、ネパールを旅してきました。目的は、ヒマラヤトレッキングで、標高4130mのアンナプルナ・ベースキャンプまでを登ってきました。素晴らしい体験でしたが、ここでは詳述しません。

ネパール旅行の最終日、カトマンズにて旧知の友人、Razen Manandhar さんと再会することができました。彼は、2007年に横浜で開催された世界エスぺラント大会の参加者で、それをきっかけに知り合いになりました。

2013年、私の初のネパール旅行（ルンビニ参拝が目的）の時には、彼の自宅に招待されました。その時、私はタクシーで自宅に向かったわけですが、降車時に、衣類などを詰め込んだ大きなザックを後ろのトランクに入れっぱなしにして引き取るのを忘れる、という大失敗をしでかしたのです（この時の経験については本誌270号に執筆）。2月のことでしたが、温暖なネパールはよいとして、日本に帰ると防寒着がないので、彼がジャンパーを1着貸してくれました。郵便事情の悪いネパールの事、借りた衣服を返すわけにもいかず、そのまま10年が経過していました。

今回の再訪を機に、Razenさんにお返し（新しいダウンジャケットを用意していました）をして、つもる話をしてきました。彼はネパールではほとんどただ一人の仏教徒エスぺランチストです。また、ネパールの運動組織とは事情があって関係を絶っています。各国にエスぺランチストの友人がいます。



今後の活動

❖ 維持員総会

- ・日時： 3月9日（土）午後2時から5時
- ・場所： 名古屋エスぺラントセンター事務所

維持員総会では、今年度の活動報告と決算、次年度の活動計画と予算、および新しいセンター委員会を選出します。同封のハガキにて出欠をご返事ください。

活動日誌（11月から12月）

- 11/9（木） 19時から20時半 フォローアップ講座
- 11/10（金） 17時半から19時半 中級学習会
- 11/13（月） 20時から21時 作文教室（オンライン）
- 11/14（火） 19時から20時半 入門講座
- 11/16（木） 19時から20時半 センター委員会
- 11/17（金） 17時半から19時半 中級学習会
- 11/20（月） 19時から20時半 フォローアップ講座
- 11/21（火） 19時から20時半 入門講座
- 11/23（木） 19時から20時半 フォローアップ講座
- 11/27（月） 20時から21時 作文教室（オンライン）
- 11/28（火） 19時から20時半 入門講座
- 11/29（水） 15時から16時 自由会話（オンライン）
- 11/29（水） 16時から18時 読書会（オンライン）
- 11/30（木） 19時から20時半 フォローアップ講座
- 12/4（月） 19時から20時半 フォローアップ講座
- 12/6（水） 19時から20時 事務所整頓作業
- 12/12（火） 19時から20時半 センター委員会（オンライン）
- 12/14（木） 19時から20時半 フォローアップ講座
- 12/15（金） 17時半から19時半 中級学習会
- 12/17（日） 14時から17時 ザメンホフ祭（その後懇親会あり）
- 12/19（火） 15時から16時 読書会（その後忘年会）（オンライン）
- 12/21（木） 19時から20時半 フォローアップ講座
- 12/25（月） 20時から21時 作文教室（オンライン）

▶編集後記

○どうやら郵便料金がまたまた値上げされるようです。「センター通信」は現在数名の方に、紙版ではなく電子版（PDFファイル）で受け取っていただいておりますが、随時希望を受け付けています。会費は同じですが、発送コストを抑制するためにも、できるだけご協力いただければさいわいです。（山口）

センターの会員（維持員）募集中

A:月500円 / B:月1,000円 / C:月2,000円 / D:月3,000円

ランクによる会員資格に差はありません。ランク別及び振込月数を明記して郵便振込（口座番号は表紙タイトル下）へお願いします。メールアドレスがあれば、それもあわせてご記入ください。